

令和2年3月24日

伊奈学園総合高校 生徒の皆さんへ

埼玉県立伊奈学園総合高等学校 校長 遠藤 修平

桜の花もほころび、春の到来を感じさせるころとなりました。伊奈学園高等学校の生徒の皆さんは、お元気でお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスによる感染が学校現場で広がらないようにするための緊急措置として、春休み開始までの間、臨時休業とするというお知らせをしたのが、3月2日のことでした。それから既に20日余りが経ちました。この間、計画的に勉強に取り組んでいますか。外出できないストレスから体調を崩してはいませんか。先生方も皆さんのことを大変心配しています。

皆さんの健康を守るためとはいえ、今回の臨時休業という措置により、皆さんの学びの機会を失わせてしまったことには、大変申し訳なく思っています。2年次生は受験まで1年を切り、不安を抱えて毎日をお過ごしのことと思います。また、部活動も最後の大会を控える中で、1年次生を含め、皆さんの意欲まで低下しているのではないかと危惧しています。

皆さんのいない学校は静寂の中にあります。学校は、日々の歩みを止めています。皆さんのいる日常がこんなにもいとおしく感じられることは今までありませんでした。私たちは東日本大震災の時、当たり前でいられることの幸せを痛感していたはずなのに、わずか9年でそのことを忘れてしまっていました。朝起きてご飯を食べて自転車をこいで駅に向かう。電車に揺られて羽貫駅を降りる。友人と「おはよう」の挨拶を交わしてたわいもない話に盛り上がる。授業中先生から出された問題に頭を悩ませる。友達と部活動に汗を流す。家に帰り眠気と戦いながら宿題をこなす。友人とのSNSのやり取り。普段の何気ない一日の営みが、実はかけがえのない特別な一日だったと気付かされました。

この一月余りの期間、私たちは多くのことを考えました。人類の危機とでもいうべきパンデミックに遭遇して、人間の英知をもって解決に向けて努力する人々の様子を目の当たりにしてきました。今回のことで与えられた「時間」が私たちに「思考」を与えてくれました。忙しい日常に紛れ、考えることをやめてしまっていた私たちに、危機を乗り越えるための試練を与えてくれました。今こそ、人間の真価が問われる時です。皆さんで協力して、知恵を出し合い、この苦境を乗り越え、当たり前の日常を取り戻しましょう。

今回、不幸にも新型コロナウイルスに感染して命を落とされた方もいます。また、その感染により今なお病気に苦しんでいる方もおいでです。そして、感染した方の御家族も偏見に悩まされていると伺っています。皆さんには、そういった方々にも、思いを寄せられる心優しい人になってほしいと思います。

学校では、先生方が新学期に向けての準備を整えています。先生方も皆さんとともに、一刻も早く勉強に、部活動に取り組めることを心待ちにしています。皆さんもあと約2週間の辛抱です。この間、与えられた時間を有意義に活用して、将来の礎になるよう努めてください。新学期には、伊奈学園の生徒の皆さんが全員明るく元気に登校できるようになることを願っています。志を高く持ち、自分の将来に向けて日々努力してください。全校生徒の皆さんの御健康と御活躍、そして伊奈学園総合高校のますますの御発展をお祈りします。